



令和7年度 月形町地域おこし協力隊の活動報告



月形町では地域おこし協力隊として現在8名の隊員が活躍しています。各隊員が今年度取り組んでいる事業の報告や来年度への意気込みをご紹介します。

氏名 石原 絢子

着任 令和5年6月～

活動内容 月形町で生産される花を通して町内外へのPR



令和7年度の主な活動内容

令和7年度の活動として、花の里こども園では母の日用のカーネーションをお渡ししたり、小学校・高校での花育では講師を務めました。子どもたちや保護者の方々にお花を身近に感じてもらう機会になったと思います。

ツキガタアートヴィレッジではフラワーレッスンの作品を町民文化祭で展示し、つきがた夏まつりなど、たくさんのイベントに参加しました。

この他にも、道の駅275つきがたの1周年記念などの装花や講師活動を通じて、幅広い世代にお花を届けることができました。

また、町外のイベントに参加したりSNSを通して月形町のお花の魅力を発信しました。

花そのものの美しさはもちろんですが、花を介して生まれるコミュニケーションの温かさに、私自身が何度も救われ元気づけられました。

イベントで皆さんから「今年のお花きれいだね」「またレッスンを楽しみにしているよ」と声をかけていただける機会が増えたことは、何よりの励みです。月形町という素晴らしい産地があるからこそできる表現を模索し続け、この町が「花でつながる温かい場所」であり続けるよう、任期満了後も精一杯取り組んでいきたいと、心を新たにしています。



令和8年度の活動予定

令和8年3月末をもって地域おこし協力隊の任期が終了となります。

4月からは、町内で移動販売車による花の販売（月形町産の花をメインに扱う予定です）、各事業者での町内イベントの参加、お祭りなどのお手伝いや出店などなど、協力隊の期間を終えた後もこれまでと変わらずに、さまざまな場所で皆さんとお会いしたいと考えております。

SNSでの月形町産のお花のPRや、花育、それに伴う生産者の皆さんとの交流は今後も継続いたします。町の皆さんとお付き合いもこれまでと変わらずに続けたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします！

氏名 田中 健太郎
田中 玲奈

着任 令和5年11月～

活動内容 農業研修員
(新規就農・ミニトマト生産)



令和7年度の主な活動内容

令和7年度は、実習農場にて自分たちの手でミニトマトを栽培するデビューイヤーとなりました。3月の除排雪や4棟分のビニール張りから作業が始まり、4月の育苗では自作の三重被覆設備を整え、温度管理に努めました。5月に定植した約1,000本の苗は順調に生育し、6月下旬から約4カ月にわたり収穫することができました。例年通りの猛暑に見舞われ、身体的には厳しい日々でした。暑さの影響がミニトマトの生育や色づきが一時止まったように感じ、自然の難しさを実感しました。ですが一年の結果としては、目標を大幅に超える収量を確保できました。

また、ハウス間の土地を活用し、さつまいもやかぼちゃ、きゅうり、ナスなど多品目の露地栽培にも挑戦しました。品目ごとの管理や収穫時期に戸惑いながらも、美味しい野菜を収穫し、農家として充実したシーズンを過ごすことができました。

そして、農業以外の活動ではつぎがたdesignの一員としてツキビズキャンプ2期・3期の運営に携わりました。町内外の人との交流を通じ、農業経営者としての独立を見据え、夢を追い続ける覚悟と責任を改めて胸に刻む一年となりました。親方をはじめ、農家の諸先輩方、町、農協の皆さまに心より感謝申し上げます。



令和8年度の活動予定

令和8年度はいよいよ独立して就農します。雪の少ない今冬ですが、就農に向けた準備を着々と進めています。土づくりやハウス設営から始め、月形産ブランドに恥じない立派なミニトマトを作ってまいります。

初年度は4～6棟での営農からスタートし、10年後までに棟数の倍増を目指します。今後50年の営農を見据え、『北海道と世界をつなぐ』という自身の夢のもと、多国籍で多様性のある農家を築いていく所存です。

また、つぎがたdesignとしての活動にも可能な限り協力し、農業以外の世界とのつながりも大切にしながら、月形のために力を尽くしていきたいと考えています。そのためにもまずは新規就農者として確実に結果を積み重ねていきます。心身の健康や家族との時間も大切にし、楽しい農家ライフをスタートしていきたいと思っています。

地域おこし協力隊としての任期は残り少なくなりましたが、Facebookなどでの発信もぜひご覧ください。これからも温かいご支援と応援をよろしくお願いいたします。

氏名 松田 誠之
松田 恵子

着任 令和7年4月～

活動 農業研修員
内容 (新規就農・ミニトマト生産)



令和7年度の主な活動内容

昨年4月に夫婦で札幌から移住し、地域おこし協力隊員として活動を始めました。移住前は全く異なる仕事をしており、農業は右も左もわからない状態で、戸惑うこともありましたが、温かい皆さんに支えられ、充実した1年目を終えることができました。

昨シーズンは、親方となるミニトマト農家のもとでプロの技術を一から教わりました。春先のハウスのビニール張りから始まり、育苗、定植、そして日々の剪定や誘引、待ちに待った収穫まで、ミニトマト栽培の全工程を実践的に学ばせていただくとともに、農業の奥深さと厳しさを肌で感じる毎日でした。

50代半ばでの新たな挑戦ということもあり、日々の作業は、当初、体力的につらく感じることもありましたが、月形の豊かな自然の中で体を動かすうちに、徐々に体力も付き、無事に乗り切ることができました。また、現場での作業と並行して農業大学校での講習やオンラインセミナーに参加するなど専門知識の習得にも励んでまいりました。

活動を通じて何より心強かったのは、人の繋がりです。親方はもちろん農協の方々や、先に活動されている先輩隊員、そして近隣農家の皆さんからいただいた多くのアドバイスと励ましが、大きな支えとなりました。



令和8年度の活動予定

今年は、地域おこし協力隊員として2年目のシーズンを迎えます。

この冬は慣れないトラクターでの除雪作業に格闘する日々でしたが、月形の厳しい冬を経験し、農家としての覚悟がより一層強まりました。

令和8年度はいよいよ実践の年です。実習農場のビニールハウス4棟を使い、ハウスの設営やビニール張り、苗の管理から収穫、農協への出荷まで、全ての工程を夫婦二人で行います。親方から叩き込まれた栽培技術を一つ一つ丁寧になぞりながら、月形ブランドに恥じない高品質な美味しいミニトマトを育て上げることが目標です。

体力勝負の毎日となりますが、自分たちの手で育てた農作物を流通に乗せる責任の重さを感じつつも、挑戦できる喜びで胸がいっぱいです。自分たちが育てたミニトマトが食卓へ届く喜びを糧に、夫婦で力を合わせて一歩ずつ着実に歩んでまいります。町内で見かけた際は、お声がけいただければ嬉しいです。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

氏名 フローレス イトニー ジェーン

着任 令和7年8月～

活動内容 花の里こども園 勤務



令和7年度の主な活動内容

8月に月形町に到着後、すぐに花の里こども園での勤務を開始し、最初の1カ月は子どもたちや園の一日の流れ、そして地域社会について理解を深める時間を過ごしました。また、近くの商店や飲食店、温泉、周囲の自然環境など、町の様子にも親しみました。

9月には、金魚祭りに参加して地域文化を体験し、ビンゴ大会やランタン上げなどの地域行事に加わりました。園では毎年恒例の運動会に参加し、園行事の中でも大きな行事の一つである運動会を支える、先生方の丁寧な計画とチームワーク、そして強い熱意を間近で見ることができました。

10月は、町での生活に慣れ、冬に向けた準備を進める中で、同僚の先生方から多くの支えを受け、より深く園の活動に関わる時期となりました。円山動物園や札幌市青少年科学館への遠足に同行し、バスや電車を使って札幌へ通う方法も学びました。また、子どもたちと一緒に剣道の授業や稲作体験などの体験型活動にも参加しました。

11月は、引き続き園での活動を中心とした日々を過ごしました。

12月には、園外で先生方とともに初めて月形町でのクリスマスを穏やかに祝い、一年を締めくくる意義深い時間となりました。



令和8年度の活動予定

月形町でやってみたいことがたくさんあります。自分で野菜や花を育てたり、新しいスキルとして生け花を学んだり、そして何よりも、花の里こども園でこれからもやりがいのある仕事を続けていきたいと思っています。また、近所や月形町でより多くの人々と出会い、彼らの話に耳を傾け、その知恵から学ぶことを楽しみにしています。聞きたいことや理解したいことがたくさんあり、これからも多くの日々があるからこそ、人々や地域と本当につながるために、日本語をもっとすらすらと話せるようになりたいという意欲があります。

月形町だけでなく、北海道、そして日本全体をもっと探索したいと考えています。日本は広く美しい国で、体験したいことが数えきれないほどあります。3年間ですべての場所を訪れることは難しいかもしれませんが、神様のお導きにより契約が延長され、これからも日本での歩みを深めながら、さらに多くの場所を訪れることができることを願っています。

氏名 榎野 充
榎野 孝子

着任 令和7年11月～

活動 農業研修員
内容 (新規就農・ミニトマト生産)



令和7年度の主な活動内容

昨年は農業体験やインターン制度を利用して、ミニトマトの定植と7月からの収穫作業をお手伝いさせてもらいました。指導農家や先輩方から毎日いろいろなことを教えていただきながら、ハウスの最後の後片付けまで終わることができました。ですが、作業を終えた後でも作物の状態や気象、ハウス環境などを把握することであったり、どの枝を伸ばしてどれを取るのかであったり、まだまだ分からないことだらけであり、学ぶべきことの多さを改めて実感した一年となりました。

ハウスでの実地研修以外にも、農業大学校でのトラクター研修も受講しました。トレーラーを繋いだ基本操作を練習できたほか、座学での機械構造や安全確保に関する講義も学ぶ点が多く、収穫の多い研修でした。

11月より正式に月形町の地域おこし協力隊員として採用をいただきました。ここまでこれたのはご指導いただいた先輩方、いつもよくしてくださるご近所の皆さん、そして採用・移住までご助力いただいた役場や農協の皆さんのお陰です。ありがとうございました！



令和8年度の活動予定

昨年ご指導いただいた先輩方に、今年も引き続きご指導いただけることになりました。1シーズン通してのミニトマト栽培の進め方をしっかりと学んでいきたいと思えます。

また、栽培技術の習得のほかにも、新規就農するためにはさまざまな課題がありますので、できるだけ前倒しで準備を進めていきたいと考えています。一先ずは来年の実習農場での栽培に向けて、粗削りでも経営計画を立ててみることで、技術書などを参考に作業スケジュール表を作り、実際の作業内容も記入して全体像を把握すること、また農業の経理の手法を学ぶことなどにも取り組んでいく予定です。

そして、これらを頑張るのはもちろんですがそれ以上に、月形での新生活を楽しんでいきたいと思っています。豊かな自然や農村風景、美味しいお米や農産品、そして親切にいただいた皆さんの人情・温かみ。そんな月形の魅力をもっともっと見つけて満喫し、それを伝えていけるようになりたいなと思っています。